

新医薬品が薬価収載されましたのでお知らせいたします。

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	包装単位	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	承認年月日	備考
1	117	内用薬	レキサルティ錠1mg	1mg1錠	268.90円	[PTP] 100錠 (10錠×10)、500錠 (10錠×50)、[プラスチックボトル] 500錠、1,000錠	大塚製薬	ブレクスピ ブラゾール	統合失調症	通常、成人にはブレクスピブラゾールとして1日1回1mgから投与を開始した後、4日以上の間隔をあけて増量し、1日1回2mgを経口投与する。	劇、処方	H30.1.19	新有効成分
			レキサルティ錠2mg	2mg1錠	509.20円	[PTP] 100錠 (10錠×10)、500錠 (10錠×50)、[プラスチックボトル] 500錠、1,000錠							
2	218	内用薬	アトーゼット配合錠LD	1錠	177.00円	100錠 (PTP10錠×10) 500錠 (PTP10錠×50)	MSD	エゼチミブ/ アトルバスタチンカルシウム水和物	高コレステロール血症、 家族性高コレステロール血症	通常、成人には1日1回1錠 (エゼチミブ/アトルバスタチンとして10 mg/10 mg又は10 mg/20 mg) を食後に経口投与する。	処方	H29.9.27	新医療用配合剤
			アトーゼット配合錠HD	1錠	177.00円	100錠 (PTP10錠×10)							

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	包装単位	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	承認年月日	備考
3	232	内用薬	ネキシウム懸濁用顆粒分包 10mg	10mg1包	80.60円	28包	アストラゼネ カ	エソメプラ ゾールマグ ネシウム水 和物	○胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、非びらん性胃食道逆流症、Zollinger-Elison症候群、非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制、低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制 ○下記におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃MALTリンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎	○胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger-Elison症候群 成人 通常、成人にはエソメプラゾールとして1回20mgを用時水で懸濁して1日1回経口投与する。なお、通常、胃潰瘍、吻合部潰瘍では8週間まで、十二指腸潰瘍では6週間までの投与とする。 小児 通常、1歳以上の幼児及び小児にはエソメプラゾールとして、体重20kg未満では1回10mgを、体重20kg以上では症状に応じて1回10～20mgを用時水で懸濁して1日1回経口投与する。なお、通常、胃潰瘍、吻合部潰瘍では8週間まで、十二指腸潰瘍では6週間までの投与とする。 ○逆流性食道炎 成人 通常、成人にはエソメプラゾールとして1回20mgを用時水で懸濁して1日1回経口投与する。なお、通常、8週間までの投与とする。さらに再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法においては、1回10～20mgを用時水で懸濁して1日1回経口投与する。 小児 通常、1歳以上の幼児及び小児にはエソメプラゾールとして、体重20kg未満では1回10mgを、体重20kg以上では症状に応じて1回10～20mgを用時水で懸濁して1日1回経口投与する。なお、通常、8週間までの投与とする。 ○非びらん性胃食道逆流症 成人 通常、成人にはエソメプラゾールとして1回10mgを用時水で懸濁して1日1回経口投与する。なお、通常、4週間までの投与とする。 小児 通常、1歳以上の幼児及び小児にはエソメプラゾールとして、1回10mgを用時水で懸濁して1日1回経口投与する。なお、通常、4週間までの投与とする。 ○非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制 通常、成人にはエソメプラゾールとして1回20mgを用時水で懸濁して1日1回経口投与する。 ○低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制 通常、成人にはエソメプラゾールとして1回20mgを用時水で懸濁して1日1回経口投与する。 ○ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助 通常、成人にはエソメプラゾールとして1回20mgを用時水で懸濁して、アモキシシリン水和物として1回750mg(カラム)及びクラリスロマイシンとして1回200mg(カラム)の3剤を同時に1日2回、7日間経口投与する。なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、1回400mg(カラム)1日2回を上限とする。 プロトンポンプインヒビター、アモキシシリン水和物及びクラリスロマイシンの3剤投与によるヘリコバクター・ピロリの除菌治療が不成功の場合は、これに代わる治療として、通常、成人にはエソメプラゾールとして1回20mgを用時水で懸濁して、アモキシシリン水和物として1回750mg(カラム)及びメトロニダゾールとして1回250mgの3剤を同時に1日2回、7日間経口投与する。	処方	H30.1.19	新用量、剤形追加

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	包装単位	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	承認年月日	備考	
			ネキシウム懸濁用顆粒分包 20mg	20mg1包	140.30円	28包			<p>○胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison症候群、非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制、低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制</p> <p>○下記におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助</p> <p>胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃MALTリンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎</p>	<p>○胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger-Ellison症候群</p> <p>成人 通常、成人にはエソメプラゾールとして1回20mgを用水で懸濁して1日1回経口投与する。なお、通常、胃潰瘍、吻合部潰瘍では8週間まで、十二指腸潰瘍では6週間までの投与とする。</p> <p>小児 通常、体重20kg以上の幼児及び小児にはエソメプラゾールとして、症状に応じて1回10～20mgを用水で懸濁して1日1回経口投与する。なお、通常、胃潰瘍、吻合部潰瘍では8週間まで、十二指腸潰瘍では6週間までの投与とする。</p> <p>○逆流性食道炎</p> <p>成人 通常、成人にはエソメプラゾールとして1回20mgを用水で懸濁して1日1回経口投与する。なお、通常、8週間までの投与とする。さらに再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法においては、1回10～20mgを用水で懸濁して1日1回経口投与する。</p> <p>小児 通常、体重20kg以上の幼児及び小児にはエソメプラゾールとして、症状に応じて1回10～20mgを用水で懸濁して1日1回経口投与する。なお、通常、8週間までの投与とする。</p> <p>○非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制 通常、成人にはエソメプラゾールとして1回20mgを用水で懸濁して1日1回経口投与する。</p> <p>○低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制 通常、成人にはエソメプラゾールとして1回20 mg を用水で懸濁して1日1回経口投与する。</p> <p>○ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助 通常、成人にはエソメプラゾールとして1回20mgを用水で懸濁して、アモキシシリン水和物として1回750mg（カラム）及びクラリスロマイシンとして1回200mg（カラム）の3剤を同時に1日2回、7日間経口投与する。なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、1回400mg（カラム）1日2回を上限とする。</p> <p>フロトンポンブインヒビター、アモキシシリン水和物及びクラリスロマイシンの3剤投与によるヘリコバクター・ピロリの除菌治療が不成功の場合は、これに代わる治療として、通常、成人にはエソメプラゾールとして1回20mgを用水で懸濁して、アモキシシリン水和物として1回750mg（カラム）及びメトロニダゾールとして1回250mgの3剤を同時に1日2回、7日間経口投与する。</p>				

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	包装単位	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	承認年月日	備考
4	235	内用薬	グーフィス錠5mg	5mg1錠	105.80円	100錠(PTP)、 500錠(PTP)	EAファーマ	エロピキシ バット水和 物	慢性便秘症（器質的疾患 による便秘を除く）	通常、成人にはエロピキシバットとして10mgを1日 1回食前に経口投与する。なお、症状により適宜増減 するが、最高用量は1日15mgとする。	処方	H30.1.19	新有効成分
5	429	内用薬	リムパーザ錠100mg	100mg1錠	3,996.00円	[PTP] 56錠 (8錠×7)	アストラゼネ カ	オラパリブ	白金系抗悪性腫瘍剤感受 性の再発卵巣癌における 維持療法	通常、成人にはオラパリブとして300mgを1日2回、 経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量す る。	劇、処方	H30.1.19	新有効成分
			リムパーザ錠150mg	150mg1錠	5,932.50円	[PTP] 56錠 (8錠×7)							
6	449	内用薬	シダキュアスギ花粉舌下錠 2,000JAU	2,000JAU1錠	57.70円	ブリスター包装 7錠(7錠×1)	鳥居薬品	スギ花粉工 キス原末	スギ花粉症（減感作療 法）	通常、投与開始後1週間は、シダキュアスギ花粉舌下 錠2,000JAUを1日1回1錠、投与2週目以降は、シダ キュアスギ花粉舌下錠5,000JAUを1日1回1錠、舌下 にて1分間保持した後、飲み込む。その後5分間は、 うがいや飲食を控える。	処方	H29.9.27	新有効成分
			シダキュアスギ花粉舌下錠 5,000JAU	5,000JAU1錠	144.10円	ブリスター包装 10錠(10錠×1) ブリスター包装 100錠(10錠× 10)							
7	622	内用薬	サチュコ錠100mg	100mg1錠	21,872.50円	6錠（6錠×1）	ヤンセン ファーマ	ベダキリン フマル酸塩	<適応菌種> 本剤に感性の結核菌 <適応症> 多剤耐性肺結核	通常、成人には投与開始から2週間はベダキリンとし て1日1回400mgを食直後に経口投与する。その後、 3週以降は、ベダキリンとして1回200mgを週3回、 48時間以上の間隔をあけて食直後に経口投与する。 投与に際しては、必ず他の抗結核薬と併用すること。	劇、処方	H30.1.19	新有効成分

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	包装単位	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	承認年月日	備考
8	219	注射薬	イブリーフ静注20mg	20mg2mL1瓶	13,012円	1バイアル(イブプロフェンとして20mg)×3	千寿製薬	イブプロフェン L-リシン	下記疾患で保存療法(水分制限、利尿剤投与等)が無効の場合 未熟児動脈管開存症	通常3回、イブプロフェンとして初回は10mg/kg、2回目及び3回目は5mg/kgを15分以上かけて24時間間隔で静脈内投与する。	処方	H30.1.19	新有効成分
9	229	注射薬	ファセンラ皮下注30mgシリンジ	30mg1mL1筒	351,535円	1キット	アストラゼネカ	ベンラリズマブ(遺伝子組換え)	気管支喘息(既存治療によっても喘息症状をコントロールできない難治の患者に限る)	通常、成人にはベンラリズマブ(遺伝子組換え)として1回30mgを、初回、4週後、8週後に皮下に注射し、以降、8週間隔で皮下に注射する。	生物、劇、処方	H30.1.19	新有効成分
10	423	注射薬	ベスポンサ点滴静注用1mg	1mg1瓶	1,307,092円	1バイアル	ファイザー	イノツズマブ オゾガマイシン(遺伝子組換え)	再発又は難治性のCD22陽性の急性リンパ性白血病	通常、成人にはイノツズマブ オゾガマイシン(遺伝子組換え)として1日目は0.8mg/m ² (体表面積)、8及び15日目は0.5mg/m ² (体表面積)を1日1回、1時間以上かけて点滴静脈内投与した後、休薬する。1サイクル目は21~28日間、2サイクル目以降は28日間を1サイクルとし、投与を繰り返す。投与サイクル数は造血幹細胞移植の施行予定を考慮して決定する。なお、患者の状態により適宜減量する。	生物、毒、処方	H30.1.19	新有効成分

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	包装単位	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	承認年月日	備考
11	429	注射薬	イストダックス点滴静注用10mg	10mg1瓶(溶解液付)	109,753円	1バイアル(専用溶解用液付)	セルジーン	ロミデプシン	再発又は難治性の末梢性T細胞リンパ腫	通常、成人にはロミデプシンとして14mg/m ² (体表面積)を1、8、15日目に4時間かけて点滴静注した後、休業(16~28日目)する。この28日間を1サイクルとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。	劇、処方	H29.7.3	新有効成分
12	429	注射薬	テセントリク点滴静注1200mg	1,200mg20mL1瓶	625,567円	20mL×1バイアル	中外製薬	アテゾリズマブ(遺伝子組換え)	切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌	通常、成人にはアテゾリズマブ(遺伝子組換え)として1回1,200mgを60分かけて3週間間隔で点滴静注する。なお、初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。	生物、劇、処方	H30.1.19	新有効成分
13	449	注射薬	デュピクセント皮下注300mgシリンジ	300mg2mL1筒	81,640円	300mg/2mL×1シリンジ	サノフィ	デュピルマブ(遺伝子組換え)	既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎	通常、成人にはデュピルマブ(遺伝子組換え)として初回に600mgを皮下投与し、その後は1回300mgを2週間隔で皮下投与する。	生物、劇、処方	H30.1.19	新有効成分
14	811	注射薬	ナルベイン注2mg	2mg1mL1管	725円	1mL 10アンブル	第一三共プロファーマ	ヒドロモルフォン塩酸塩	中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛	通常、成人にはヒドロモルフォンとして1日0.5~25mgを持続静脈内又は持続皮下投与する。なお、症状に応じて適宜増減する。	麻、劇、処方	H30.1.19	新投与経路
			ナルベイン注20mg	20mg2mL1管	6,340円	2mL 10アンブル							
15	449	外用薬	アレサガテープ4mg	4mg1枚	67.50円	70枚(1枚/1袋×70袋)	久光製薬	エメダスチンフマル酸塩	アレルギー性鼻炎	通常、成人にはエメダスチンフマル酸塩として1回4mgを胸部、上腕部、背部又は腹部のいずれかに貼付し、24時間毎に貼り替える。なお、症状に応じて1回8mgに増量できる。	処方	H30.1.19	新投与経路
			アレサガテープ8mg	8mg1枚	93.10円	70枚(1枚/1袋×70袋)							

- ・薬価については官報をご確認下さい。
- ・承認時段階の情報につきましては、適宜、日本薬剤師会雑誌の日薬医薬品情報に掲載しておりますので参照下さい。

- ・薬価に関する情報は「官報」でもご確認下さい。
- ・承認に関する情報は「医薬品医療機器情報提供ホームページ」の新薬の承認に関する情報もご参照下さい。
- ・医薬品薬価マスターに関する情報は「診療報酬情報提供サービス」をご参照下さい。
- ・医薬品コードに関する情報は「薬価基準収載医薬品コード表(MEDIS-DC提供)」をご参照下さい。